

令和7年度第4回八千代市緑化審議会会議録（要旨）

日時：令和7年12月19日（金）

午後2時から午後3時

会場：八千代市役所 別館2階 第1・2会議室

1. 議題

議題1 令和7年度第3回八千代市緑化審議会の各委員意見の反映について

2. 出席者

(委員) 西廣淳 (会長 国立環境研究所気候変動適応センター副センター長)

濱野俊輔 (副会長 市民委員)

原正利 (社叢学会理事)

岩瀬浩子 (八千代市自治会連合会 推薦)

江口茂勇 (八千代市商工会議所 推薦)

仲村義男 (市民委員)

高橋邦博 (市民委員)

(事務局) 都市整備部次長 濑能尾幸広

公園緑地課長 山崎勝文

公園緑地課主幹 君塚昌則

公園緑地課主査 小川壽史

公園緑地課技師 関陽一

3. 公開または非公開の別 公開

4. 傍聴人数 1名（定員5名）

5. 会議内容 以下のとおり

(西廣会長)

早速、本日の審議に入りますが、今回の議事録の署名人は岩瀬委員、仲村委員にお願いいたします。本日の議題は1つで、1つ目は前回の審議会における各委員からのご意見の反映に関してご説明いただき、議論いたします。

それでは、議題1、「令和7年度第3回八千代市緑化審議会の各委員意見の反映について」に関し、事務局からご説明をお願いいたします。

(事務局：資料説明)

これより皆様のご意見を伺いますが、文量が多いためお気づきの点から何回かに分けご発言をいただいても結構です。但し、本会議はチェックする最終段階のため、追記内容や表現の修正等はなるべく具体的にご指摘をお願いいたします。

(濱野委員)

資料1、P.1の計画の位置付けに関し、「関連分野の計画とも相互に関連させる旨を追記した」とありますが、資料2、P.2では「関連分野の計画」とは何か、いくつあるのかが見えてきません。「関連分野の計画とも相互に関連しながら」だけでは、計画途中に様々なものが出てくる関連計画か、過去にあった関連計画か等が見えてきませんので、例えば、市独自の計画である八千代市観光振興計画と関連させ、「八千代市観光振興計画等の関連分野の計画とともに」とすると、他にも関連するものがある事が伝わると考えます。

また八千代市観光振興計画は3年前に素案ができた計画で、前年に完成する計画が1年延びて今年完成予定になっており、市民も注目していますので追記していただきたいと思います。

(事務局)

基本的にこれから策定が始まる計画も八千代市としては関連計画になり得ると思います。濱野委員がおっしゃるように観光振興計画だけ取り上げると、他の計画との兼ね合いもあるため、全体的に関係する観光分野や環境分野の法定計画でないものは、総括してこのような表記にしたいと考えております

(西廣会長)

観光振興計画は確定しておらず、後からこれも関連するという読み方ができるという事でしょうか。

(事務局)

その通りです。今後10年間の計画になるため、10年後も例えば新たな環境、農業、観光分野の計画ができた際も連携するという意味合いを含めています。

(西廣会長)

今後、関連付けていけるように「はじめとする」としたため、関連する部分は後で議論できるという認識で宜しいでしょうか。

(濱野委員)

事務局としては既にある関連計画と、計画中の花や緑に関する観光振興を常に押さえた上で、どこに影響されているか回答できるようにしていただきたいと思います。

(西廣会長)

関連分野にアンテナを張っていただくようお願いいたします。また、非常に細かいですが「関連分野とも相互に関連しながら」という言葉は冗長で、「連携しながら」等に変更いだくと、読みやすいと感じるためご検討をお願いいたします。

他にはいかがでしょうか。

(濱野委員)

資料2, P.49のコラムに「ミニバラ苗配布の取り組み」と記載されていますが、ここに「学校教育にバラを取り入れる取り組み」を追記していただきたいです。

同コラム下から3行目には、公益財団法人八千代市地域振興財団のバラ苗配布事業として、市内の小・中・義務教育学校32校のうち14校で学校敷地内のバラ植栽が進められている旨が記載されています。しかし、3年前の庁内委員会が整理した方針では、「地域振興財団のバラ植栽事業」とは記されておらず、財団は苗の配布(交付)を担う立場とされています。

庁内委員会では「小・中・高にバラを植栽する」ことがテーマとなっていて、推進部署は公園緑地課と教育総務課とされ、市と教育委員会が実施する事業として、「学校教育にバラを取り入れる」ことが位置付けられています。実際に、市と教育委員会が校長宛てにバラの植栽を呼びかける文書を毎年発出し、学校側が「10本」「20本」など希望本数を整理した上で、財団が苗を交付していると認識しています。制度の運営・指導は教育総務課および公園緑地課(市及び教育委員会)が担っているため、財団主体の事業のように記載すると主旨が異なります。

したがって、事業として記載するのであれば、「学校教育にバラを取り入れる取り組み(市・教育委員会)」を明確にし、財団は苗の交付・配布面で関与していることが分かる表現に修正していただきたいです。本件は学校教育に踏み込む重要な取り組みであり、趣旨が誤って伝わらないよう整理が必要です。

また、P.26には前回審議会での意見を踏まえ、公益財団法人八千代市地域振興財団の事業が列挙されており、これは大変良い整理だと思います。一方で、そこに学校教育との関係が記載されていないことから、P.49のコラムの表現との整合が取れていません。もし財団の事業として位置付けるのであれば、P.26側にも明確に記載すべきであり、どこかで認

識の齟齬（勘違い）が生じている可能性があります。財団は事業主体ではなく配布の補助をしている立場であるため、事実関係に沿う形で見直しをお願いします。

(西廣会長)

資料 2, P. 49 の下の囲み記事（コラム）の部分を見直していただきたいというご意見で宜しいでしょうか。

(濱野委員)

その通りです。

(西廣会長)

他にご意見いかがでしょうか。

(江口委員)

八千代市の花をバラにしようというのが今から 40 年前になるのですが、商工会の青年部と京成バラ園の鈴木省三先生が一緒に配り出したのが初めて、当時はまだどこが何をやる等全く決まっておらず、私達が京成バラ園から苗をもらい小学校に植えて下さいと依頼に行ったのが初めになります。その事業が継続され、行っていただけているのは嬉しいと思います。

(西廣会長)

歴史があるのですね。

(濱野委員)

資料 1 の P. 3 において、ボランティアとの連携による環境美化を進める方針が示されており、施設の維持管理と草花等の維持管理の 2 つに分けて整理されている点は、受け手側から見て大変分かりやすくなったと感じました。資料 2 の P. 87 では、ボランティア制度についても明確に記載されており、全体として良い方向にまとめていただいていると思います。

一方で、具体的な点として、ボランティア団体は市民活動団体に位置付けられ、この場合は環境美化に関するボランティアとなります、対象場所として記載されている街区公園 287 か所、近隣公園 13 か所のうち、実際にどの程度の場所でボランティア活動が行われているのかが資料からは分かりにくく感じました。ボランティア活動は、市へ届出を行い、市との間で代表者が覚書を交わし、使用許可を得た上で実施されているため、その状況がどこかで「見える化」できると良いと考えます。

資料 2, 第 6 章の P.61～75 では、市域を 7 ブロックに分けた整理がされており、例えば P.66 の高津・緑が丘地区の地図は比較的大きく表示され、主要な公園や京成バラ園なども

記載されているため、地元の方が見ると分かりやすい構成になっています。この地図の中に、当該地区から申請されている環境美化ボランティア制度による活動箇所を、例えば二重丸などの記号で表示していただけないでしょうか。

実際に、私の所属する地区だけでも少なくとも 9 か所でボランティア制度による取り組みが行われており、コミュニティ推進課を中心に、公園緑地課および土木管理課で把握されていると認識しています。地図上に「環境ボランティア届出制度」といった凡例とともに表示されれば、この地区ではこれだけの環境美化活動が行われていることが一目で分かります。活動に伴う報告義務や名簿提出、支援の仕組み等については既に本文で整理されているため、場所の可視化が加わることで、より理解しやすくなると考えます。

表形式で整理すると分かりにくくなる可能性があるため、地図上での簡易な表示を検討していただければと思います。

(西廣会長)

承知いたしました。何らかの形で具体的に分かりやすく表示した方が良いということかと思います。

(濱野委員)

ある地区はほとんど活動が行われていない、ある地区は活動がよく行われている等が把握された上で、全体の環境美化ボランティア制度が運営されていけば良いと思います。

(西廣会長)

現状、その情報はどこかに記載されていますでしょうか。

(事務局)

ボランティア団体数は記載していません。環境美化ボランティアの情報は公園緑地課の所管ではなく、また、落とし込む作業量としましても策定までに時間が限られているため、難しいかと思います。

(西廣会長)

作業量の問題であれば、地図はともかく表等で、何地区で何箇所等の情報の把握は難しいでしょうか。

(事務局)

圏域毎にどの地区はどれくらいある等、広い形でどこまで対応できるか検討いたします。

(西廣会長)

濱野委員のご意見、いいアイデアもいただいたため、ご提案をそのまま採用できるかど

うか不明ですが、もう一步踏み込んで検討していただきたいと思いますが、宜しいでしょうか。

(濱野委員)

私はこの推進するという意味で、P.86～88 の公園の活動は市民との連携という事で非常に重要だと思います。現状とこれから行う事がしっかりと記載されておらず、現状どうなっており、将来どのようにすれば良いのか等、そこを増やす事が絶対的に必要なのですが、この中では方向性のアクションが見えてきませんので、上手く作れるような形にしていただきたいと思います。

(西廣会長)

数字が挙がっているという事は把握している事になりますので、どのような表現が良いかについては、事務局のご意見をいただきたいと思います。

他の点はいかがでしょうか。原委員、いかがでしょうか。

(原委員)

前回の指摘は基本的に修正していただいている事でありますので、そのような表現が良い点については施策番号が入りましたので、そういった意味では以前のバージョンよりは良いと思います。言葉まで修正してしまうと混乱するため、現時点では良いと思います。

(西廣会長)

承知しました。先回りしてお伝えすると、年明けよりパブリックコメントが始まるため、この書き方の方が良い等の細かい点は後日、事務局に伝え検討いただく事もできると思いますので、改めて読み直していただければと思います。

岩瀬委員、何かお気づきの点はございますか。

(岩瀬委員)

資料1のP.3に記載のある、前回審議会での自治会への働きかけの方針についての意見は、資料2でどのように反映していただきましたでしょうか。

(西廣会長)

前回、自治会への働きかけについても触れたらどうかという濱野委員からの指摘があった件について、今回の資料で対応があるかという質問ですが、事務局からはいかがでしょうか。現時点では、反映できていないでしょうか。仮にこのような感じであれば自治会への働きかけを入れられるという事はありますでしょうか。

(岩瀬委員)

まもなく、八千代市自治会連合会の会長から、加盟している自治会の会長宛に文書が配布される予定となっています。内容としてはボランティア制度の説明、自治会内花壇の推進等の内容になるのですが、今回の資料を見ると自治会という名称は全く出てこないため、今後も自治会に縁について関心を持っていただけるよう、対応をお願いいたします。

(西廣会長)

どの場所かは検討いただくとして、色々な場所で地域との連携を重視する方針が記載されていますので、自治会とも連携を取るという点が追記できると良いでしょうか。検討をお願いいたします。

(岩瀬委員)

宜しくお願いいいたします。

(西廣会長)

仲村委員、いかがでしょうか。

(仲村委員)

前回、多数指摘されていた点がありましたが、そこは市民に分かりやすく直していくという姿勢が感じられて良かったと思います。その他、特に修正が必要な点はありません。

(西廣会長)

承知しました。

高橋委員、いかがでしょうか。

(高橋委員)

今回、さまざまな委員の意見や対策を拝見しましたが、特に方針の部分については、濱野委員から具体的な提案が多く示されており、非常に良い内容であると感じました。また、西廣会長にも伺いたい点ではあります、今年一年振り返ると、事務局のこれまでの取り組み自体は個人的に評価に値するものであり、大変努力されていると感じています。その姿勢からは、やる気や前向きな姿勢が伝わってきました。

一方で、その取り組みをさらに効率的に進めるためには、各委員が具体案を出し、方向性が明確になることが重要だと考えます。具体的な方向性が定まれば、取り組みはより簡潔で進めやすくなると思います。10年単位の計画であるため、災害等により状況が変化することは想定されますが、それを踏まえても、全体としては非常によく取り組まれていると感じました。

具体的な事例として、資料2、P.49に記載されているミニバラ苗の配布については、市

内の小中学校と連携する取り組みとして大変良いものだと思います。学校教育の中に取り入れることで、次世代の若い世代が緑に关心を持つきっかけになるからです。

現在、八千代市では道路がきれいに整備され、休日には紅葉や桜を楽しめる環境が当たり前のように整っていますが、海外を訪れた際には、汚れや臭いが目立つ場所が多いと感じました。八千代市にいると「どの程度きれいなのか」を説明するのが難しいほど、環境が整っていると感じます。現在、外国人観光客の案内を行っていますが、「道がきれい」「紅葉や桜を見たい」「多くの公園が無料で利用でき、よく整備されている」といった声を多く聞きます。これは、市民や国民の環境に対する意識の高さに加え、行政や事務局の取り組みの成果であると考えます。

一方、海外では地域の方に清掃について尋ねると、「清掃すると清掃をする人の仕事がなくなる」という回答が返ってくることもあります。日本との環境意識の差を強く感じました。公園は存在していても管理されず、雑草が生え放しという状況も多く見られます。そのような背景を踏まえると、当たり前のようにきれいな環境で暮らしていることを、若い世代へつないでいくためには、情報発信などを積極的に行うことが重要だと思います。

バラが身近にあるという子どもの頃の体験が、きれいなまちに対する意識の向上につながると思います。日本はその点で非常に良い環境にあると思いますが、10年単位の計画であるからこそ、方向性を誤らないことが重要です。インバウンド観光客の多くが「日本はきれいだ」と言って帰られる点も含め、そこに関わる私たちや事務局の取り組みは評価できると思います。

今後、行政から示される方針が計画と異なる場合には、議論や審議を通じて適切な方向へ計画を導き、10年、20年先を見据えた議論ができれば良いと考えています。いずれにしても、これまでの評価すべき点や、今後定まっていく方針に対して多様な意見を取り入れながら、さらに内容を煮詰めていくことが重要だと思います。

(西廣会長)

改定版の完成後、市民の皆様にどのように活用していただくかは、作成に関わった私共にもできる事があると思います。

(高橋委員)

私共だけでなく市民全体で行う事であるため、今後は情報発信が重要になります。せっかく私共は教育や文化の中で環境を綺麗にする意識を持っているため、それをなくさないようにしたいと考えます。

(原委員)

SNS等、日々の情報発信がベースになっていますが、例えばバラを植える、あるいはボランティアで雑木林を綺麗にする等、活動報告を発信する仕組みづくりは進んでいますでしょうか。

(事務局)

活動報告はできておりません。

(西廣会長)

活動報告を行っている自治体はあります。

(原委員)

例えば、佐倉市の文化財保護委員は、宣伝を兼ねてこまめにSNSで発信しています。発信の手間や市役所内部でどのように許可を得るか等、手続き上の問題が発生する事は理解していますが、そのような形で発信していく事は非常に重要であり、市役所全体の問題と考えます。

(西廣会長)

このような意見もある事を庁内にも共有して頂きたいと思います。

(事務局)

承知いたしました。

(江口委員)

この資料を作るにあたって多方面に気を遣いながらテリトリー意識等が出ないよう、万人に愛される事を考えて資料を作成されたと感じます。

1つ気になる事として、カイヅカイブキはバラ科の植物に害を与えるため本来はバラと一緒に植えるべきではなく、特に梨、桃、すもも、プラムを生産者にとっては害木となります。カイヅカイブキに関する情報発信は八千代市のどの課がされているでしょうか。

(事務局)

農政課で行っています。

(江口委員)

承知いたしました。私は元々生産者のため把握していますが、意外と周知されていないと思います。

(西廣会長)

実行する際はそのような知識も役立つと考えます。

濱野委員、追加のご意見がありましたらお願ひいたします。

(濱野委員)

今年5月に福山市で世界バラ会議が開催され、「1,000本のバラから100万本のバラ」プロジェクトを実施している現地を視察するため、3日間滞在しました。特に福山市立金江小学校を訪問したいと考え、実際に拝見しましたが、校内には300数十本のバラが植えられており、5・6年生の児童や校長先生、日頃から手入れを行っている地域の方々が温かく迎えてくださいました。

世界バラ会議の視察では、観光バス2台によるバスツアーで同校を訪れ、約2時間にわたり案内を受けました。お茶や饅頭を用意していただき、学校関係者、市民、子どもたちが拍手で迎え、丁寧に案内してくださる様子に大変感心しました。福山市は白いバラの街道が整備され、非常に美しいまちであると感じました。

八千代市立新木戸小学校でも、現在56本のバラを植えたバラ園が整備されており、5月には満開を迎える予定です。公園緑地課の働きかけにより、3年前から学校教育の中にバラを取り入れる取り組みが進められ、現在は14校で約200本が植栽されています。学校の先生方にとっては負担に感じられる面もあるかもしれません、できるだけ早く市内33校すべてでスタートしていただきたいと考えています。

また、私たちは自治会等を通じて9か所で届出を行い、ボランティアとしてバラや草花の植栽活動を行っています。環境美化ボランティア制度に基づき、名簿や保険を整え、約120名が分担して活動しており、岩瀬委員も私もその一員です。これらの取り組みは、間違いない軌道に乗っているという実感があります。

環境美化ボランティア制度に関して、市内には公園や緑地、歩道、自転車道など、花を植えるべき場所が数多くありますが、それらはすべて市の土地です。届出を行い、活動報告や名簿を提出したうえで、地域の仲間が顔を合わせ、水やりや草刈りを行うようなまちになってほしいと考えています。用具や器具は市の所有物として市が管理し、市民は水やりや施肥など草花の維持管理を担うなど、市と市民が一体となって取り組む形が望ましいと思います。

岩瀬委員が指摘されたように、昨年から約250の自治会が活動を開始していますが、十分な効果が上がっていないのが現状です。財団が肥料や無料苗を保有していること、約5万本が無償配布されていること、用具の補助があることなどが、市民に十分に知られていません。補助された用具を使い、自己負担を抑えながら労力を提供する形のまちづくりができればよいと考えます。

緑化に関する基本計画は着実に進んでいる一方で、3年前に策定された八千代市観光推進計画は十分に進んでいるとは言えない状況です。今後は、より一層市民を巻き込みながら、市がもう一歩、二歩前に出て取り組んでいただきたいと思います。

3年前には、私たちの活動が評価され、土木管理課から道路功労者団体として県知事賞をいただきました。公園緑地だけでなく、自転車道や駅前ロータリーなど道路管理区域にバラを植栽したことが評価され、表彰式では拍手をいただきました。このような評価は、実際にボランティアに参加した方々のモチベーション維持にもつながりました。

市としても、環境美化ボランティア制度の取り組みをさらに広げ、適切に評価していただきたいと考えます。不足があれば市に相談し支援していただき、良い取り組みについては市長表彰などで評価することで、市民の意欲を高めていくことが重要です。こうした取り組みを通じて、市の公園、緑地、道路、歩道等を市民の力で美しくしていくまちにしていただきたいと思います。

八千代市は「花の観光都市八千代」を市長が選挙公約として掲げ、行政としても取り組みを進めています。市民としてもその方針をしっかりと受け止め、今後も同じ方向性でより良いまちづくりを進めていくべきだと考えます。八千代市にはバラ園があり、過去の先輩方も積極的に関わってきました。私たちもその思いを確実に受け継いでおり、その意思が途切れることなく発展していくよう、今回が良い機会になればと思います。

(西廣会長)

概ねの意見が出たと思いますが、私からも最後に一言失礼いたします。

現状行っている事や過去に行ってきた事が適切に反映され、随所に今後重要な部分の仕込みのような言葉が入るような形になっており、良い計画改定が進んだと思います。

現状では多くの市民が強く認識していない緑の機能の活用としてグリーンインフラやレンガーデン等、今までと異なる発想のものが入っていると、今後役に立つ時代になる可能性もあります。

緑化園芸等は見た目を良くする花壇や緑化を中心に考えがちですが、2027年に横浜で開催される国際園芸博覧会の大きなテーマは「ネイチャー・ポジティブ」と「ネイチャー・ベーストソリューションズ（自然を生かした社会課題解決）」、「グリーンインフラ（自然環境をインフラそのものとして活用する）」等の文言がキーワードとして入っています。園芸という看板のもとにそのような事が重視された国際イベントが開かれるため、緑に対して求められるものが更に広がると考えます。そこに向けたネタが仕込まれているイメージのため、皆様でうまく活用できると良いと考えます。

(江口委員)

来年、桜のイベントを行う予定でしょうか。

(事務局)

4月に桜シンポジウムが予定されており、商工観光課が担当課となります。

(江口委員)

承知いたしました。どれぐらいの規模、内容が不明のため伺いました。八千代市は桜、バラと様々な花が咲き乱れ、良いと感じます。

(西廣会長)

進行を事務局にお返しいたします。

(事務局)

ご審議いただきありがとうございました。

その他として事務局からの連絡事項となります。今回の審議会での審議内容および委員の皆様からのご意見を反映し、来年1月下旬に「八千代市緑の基本計画【改定版】」の中間見直しの素案のパブリックコメントの実施を予定しております。素案ができ上がり次第、委員の皆様へ送付いたします。パブリックコメントにていただいた意見等の報告や計画への反映等を、次回審議会の議題とさせていただきます。

なお、第5回目の審議会は3月に開催を予定しております。日程が近くなりましたら事務局より開催通知を送付いたします。

八千代市緑の基本計画【改定版】の中間見直しに関し、令和6年度より5回にわたりご審議いただき、誠にありがとうございました。以上で本日の八千代市緑化審議会は閉会いたします。ありがとうございました。

以上、審議の内容と相違ないことを認め署名する。

会議録署名人

令和8年1月20日 仲村義男

令和8年1月20日 岩瀬浩子